

科目名 Subject	美容デザイン論Ⅴ Theory of Beauty Design Ⅴ			教員名	ヘアチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	本科目では美容デザイン論Ⅰ・Ⅲで学んだ基礎理論と美容デザイン論Ⅳで学んだ理論を応用し、国家試験課題のの技術分析を行なっていく。 また、トータルでの美容デザインを考察しながら得た知識を踏まえ、人を美しくするために必要な技術を選択する能力を養う。 人体に直接触れながら技術を行うといった美容デザインの特性を踏まえ、安全な薬剤知識と的確な技術に関する知識を備えることは重要である。そのために美容デザイン実習Ⅷ・Ⅸと連動して知識を深め、技能の向上に向けた課題分析を実践する。 したがって、講義のみにとどまらず、美容デザイン実習と関係づけた授業を展開していく。					
授業方法	授業は対面で行うが、状況次第でZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	国家試験第一課題および第二課題の課題分析ができる。 美容デザイン実習Ⅷ・Ⅸと関係づけ、技能向上のための課題解決へ向けて知識を応用することができる。 人を美しくするために必要な技術を選択することができるようになる。					
時間外学習 (予習・復習)	1回の授業につき予習(15分～30分)としてテキスト美容技術理論1・2もしくは教員作成資料の指定した範囲に目を通し理論の確認をする。または指定したテキスト美容技術理論1・2のノートまとめを確認する。 1回の授業につき復習(30分～45分)としてノートにまとめ作業を行い、理解の度合いを確認する。または教員作成資料を繰り返し読み込み、演習プリントを繰り返し回答する。					
教科書・教材	教科書	美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2023年 教員作成資料及び演習問題プリント				
	教材	B5大学ノート				
	使用設備・備品	プロジェクター				
	参考文献	「美容師筆記試験問題」(過去9回分女性モード社 電子書籍 読み放題プランで使用可)、「美容師国家試験 合格対策&模擬問題集(2023・2024年版)―集中マスター」				
評価方法	定期試験で評価する。 その他、授業態度について意欲的に参加しているかを評価して最大10点を加算する。 ただし、総合評価の最高点は100点とする					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、classroom内、もしくは美容デザイン論Ⅴにて解説を行います。					
履修上の注意	美容デザイン実習Ⅷ・Ⅸの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡はclassroomを通じて行います。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション 1 章～7 章の確認	1 章から 7 章までの知識を的確に選択することができる。	今回自らの知識が不足していた箇所を以前まとめたノートで再確認30分とカット理論についてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 2 回	国家試験第一課題① カットスタイルを学ぶ	国家試験課題のカットスタイルについて述べるができる。	国家試験課題のカットスタイルの展開図を作ってくる（45分）とカット技法のノートまとめを再確認15分
第 3 回	国家試験第一課題② カット技術理論を学ぶ	国家試験課題のカット技術の理論を理解し課題作成に関係づけることができる。	各ブロッキングの角度や方向性とカット技術の関係をまとめる（45分）とカットのチェックポイントを推察する15分
第 4 回	国家試験第一課題③ チェックのポイントを学ぶ	国家試験課題のチェックポイントの理論を理解し自らの技術課題に応用することができる。	チェックポイントをその日に切った作品で繰り返し確認しノートにまとめる45分と次回のワインディング理論についてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 5 回	ワインディング理論まとめ	ワインディング理論を復習し、知識を課題分析に応用することができる。	各期 2 体ずつのワインディング課題を理論に基づいて比較してくる30分と次回のオールウェーブ理論についてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 6 回	オールウェーブ理論まとめ	オールウェーブ理論を復習し、知識を課題分析に応用することができる。	各期 2 体ずつのオールウェーブ課題を理論に基づいて比較してくる30分と国家試験受験案内の技術条件を読み込む30分
第 7 回	国家試験実技課題について	国家試験受験案内の技術条件を確認しながら課題の分析・評価ができる。	試験センターの不適切な仕上がり画像を閲覧し、改善方法を考える30分と次回行うエステティックについてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 8 回	エステティックについて	マッサージ理論をもとにフェイシャルケア技術について具体的に述べることができる。	フェイシャルケア技術理論の演習問題を繰り返し解く30分と以前に行ったノートまとめから次回行うネイルについてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 9 回	ネイル技術について	各ネイル技術を適切に選択して説明できる。	ネイル技術理論の演習問題を繰り返し解く30分と次回行うメイクアップについてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 1 0 回	メイクアップについて	メイクの基本プロセスを人に合わせる想定で応用できる。まつ毛エクステンションについて説明できる。	メイクの基本プロセスとまつ毛エクステンションの演習問題を繰り返し解く30分と次回行う日本髪についてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 1 1 回	日本髪について	日本髪の調和と装飾品の使用方法を結髪技術に応用できる。	日本髪の総合的な美を感じる画像を探す30分と次回行う着付けについてこれまでのまとめノートを確認する30分
第 1 2 回	着付けの理論と技術について	着付けの理論と各着物の着付け技術のポイントを適切に選択することができる。	各着物の着付け技術を理論と結び付けてノートにまとめる30分と演習問題を繰り返し説く30分
第 1 3 回	国家試験筆記課題（美容理論）への対応力を養う① 序章～7 章の応用	序章から 7 章に対応する出題傾向を理解し選択できる。	今回の内容で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く60分
第 1 4 回	国家試験筆記課題（美容理論）への対応力を養う② 8 章～1 2 章の応用	8 章から 1 2 章に対応する出題傾向を理解し選択できる。	今回の内容で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く60分
第 1 5 回	まとめと解説	美容デザイン論 I ～V で得た知識をもとに必要な美容デザイン知識を選択または分析することができる。	美容技術理論1.2で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く60分